【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公表番号】特表2002-531467(P2002-531467A)
【公表日】平成14年9月24日(2002.9.24)
【出願番号】特願2000-585348(P2000-585348)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 215/30 (2006.01)
Ｃ０７Ｆ 1/02 (2006.01)
Ｃ０９Ｋ 11/06 (2006.01)
Ｈ０１Ｌ 51/50 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 215/30
Ｃ０７Ｆ 1/02
Ｃ０９Ｋ 11/06 ６６０
Ｈ０５Ｂ 33/14 Ｂ
Ｈ０５Ｂ 33/22 Ｂ
Ｈ０５Ｂ 33/22 Ｄ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年4月28日(2010.4.28)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】特許請求の範囲
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 青色のエレクトロルミネセンスを提供するリチウムキノレートまたは置換されたキノレートであって、該リチウムキノレートまたは置換されたキノレートは、リチウムアルキルまたはリチウムアルコキシドの、アセトニトリルを含む溶媒中での、８－ヒドロキシキノリンとの反応によって得ることが可能であり、該８－ヒドロキシキノリンは、非置換であっても、アルキル、アルコキシ、アリール、アリールオキシ、スルホン酸、エステル、カルボン酸、アミノまたはアミド基、あるいは芳香族基、多環系基または複素環式基から選択される置換基を有してもよい、リチウムキノレートまたは置換されたキノレート。
【請求項２】 青色のエレクトロルミネセンスを提供するリチウムキノレートまたは置換されたキノレートを作製する方法であって、該方法が、リチウムアルキルまたはリチウムアルコキシドを、アセトニトリルを含む溶媒中で、８－ヒドロキシキノリンと反応させる工程を包含し、該８－ヒドロキシキノリンは、非置換であっても、アルキル、アルコキシ、アリール、アリールオキシ、スルホン酸、エステル、カルボン酸、アミノまたはアミド基、あるいは芳香族基、多環系基または複素環式基から選択される置換基を有してもよい、
方法。
【請求項３】 エチルリチウム、プロピルリチウムまたはブチルリチウムが、前記８－ヒドロキシキノリンまたは置換８－ヒドロキシキノリンと反応させられる、請求項２に記載の方法。
【請求項４】 ｎ－ブチルリチウムが、前記８－ヒドロキシキノリンまたは置換８－ヒドロキシキノリンと反応させられる、請求項２に記載の方法。
【請求項５】 エレクトロルミネセンスデバイスであって、該エレクトロルミネセン

スデバイスが、第一電極、青色光を発するエレクトロルミネセンス材料の層、および第二電極を順番に備え、該青色光を発するエレクトロルミネセンス材料が、リチウムキノレートまたは置換されたキノレートであり、該リチウムキノレートまたは置換されたキノレートは、リチウムアルキルまたはリチウムアルコキシドの、アセトニトリルを含む溶媒中での、８－ヒドロキシキノリンとの反応によって得ることが可能であり、該８－ヒドロキシキノリンは、非置換であっても、アルキル、アルコキシ、アリール、アリールオキシ、スルホン酸、エステル、カルボン酸、アミノまたはアミド基、あるいは芳香族基、多環系基または複素環式基から選択される置換基を有してもよいことを特徴とする、
エレクトロルミネセンスデバイス。

【請求項６】　請求項５に記載のデバイスであって、前記導電性基板上に正孔輸送物質の層が存在し、そして、該正孔輸送物質の層上に前記リチウムキノレートが存在する、
デバイス。

【請求項７】　前記正孔輸物質がポリアミンである、請求項６に記載のデバイス。

【請求項８】　請求項７に記載のデバイスであって、前記正孔輸送層が、ポリ（ビニルカルバゾール）、またはＮ，Ｎ’－ジフェニル－Ｎ，Ｎ’－ビス（３－メチルフェニル）－１，１’－ビフェニル－４，４’－ジアミン（ＴＰＤ）である、
デバイス。

【請求項９】　前記正孔輸送層がポリアニリンである、請求項７に記載のデバイス。

【請求項１０】　請求項５～９のいずれか１項に記載のデバイスであって、正孔輸送物質が、５～９５重量％の前記リチウムキノレート対９５～５重量％の正孔輸送物質の比で該リチウムキノレートと混合される、
デバイス。

【請求項１１】　請求項５～１０のいずれか１項に記載のデバイスであって、前記リチウムキノレートが、ポリオレフィンと混合され、該混合物における該リチウムキノレートの量が、該混合物の９５重量％～５重量％である、
デバイス。

【請求項１２】　請求項５～１１のいずれか１項に記載のデバイスであって、前記カソードと前記リチウムキノレート層の間に、電子注入物質の層が存在する、
デバイス。

【請求項１３】　請求項５～１２のいずれか１項に記載のデバイスであって、前記リチウムキノレートと混合された電子注入層が存在する、
デバイス。

【請求項１４】　請求項１２または１３に記載のデバイスであって、前記電子注入層が、電流がそれを通して通った場合に電子を輸送する、アルミニウムキノレートである、
デバイス。

【請求項１５】　請求項５～１４のいずれか１項に記載のデバイスであって、前記アノードが、透明導電性ガラスである、
デバイス。

【請求項１６】　エレクトロルミネセンスデバイスであって、該エレクトロルミネセンスデバイスが、アノードとして作用する導電性基板、正孔輸送物質の層、リチウムキノレート層、電子注入物質の層、およびカソードとして作用する金属を順番に備え、該リチウムキノレートが、リチウムアルキルまたはリチウムアルコキシドと、８－ヒドロキシキノリンまたは置換８－ヒドロキシキノリンとの、アセトニトリルを含む溶媒の溶液中での反応により作製される、青色光を発するリチウムキノレートであることを特徴とする、
エレクトロルミネセンスデバイス。

【請求項１７】　第一電極、エレクトロルミネセンス材料の層、および第二電極を順番に備えるエレクトロルミネッセンスデバイスを形成する方法であって、該方法は、該エレクトロルミネッセンス材料を該第一電極上に堆積させる工程を包含し、該方法が、リチウムアルキルまたはリチウムアルコキシドを、８－ヒドロキシキノリンと、アセトニトリルを含む溶媒中で反応させて、青色光を発するリチウムキノレートを形成する工程、およ

び形成された該リチウムキノレートを該第一電極上に堆積させる工程を包含することを特徴とする、方法。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２８】
正孔輸送物質は、必要に応じて５～９５％のリチウムキノレート対９５～５％の正孔輸送化合物の比でリチウムキノレートと混合され得る。本発明の別の実施形態において、カソードとリチウムキノレート層の間に電子注入物質の層が存在し、この電子注入層は、好ましくは異なる金属キノレート（例えばアルミニウムキノレート）のような金属錯体であり、これは、電流がこれを通して流れたときに電子を輸送する。あるいは、電子注入物質は、リチウムキノレートと混合され得、そしてこれと共堆積され得る。